

## **国際英語学部 英米文化学科【教育課程の編成・実施方針】**

国際英語学部英米文化学科では、学位授与の方針で示した「学習成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

### **<国際英語学部英米文化学科の教育目的>**

国際英語の理念に基づき、多様な価値観と文化を尊重し、それらに対する理解を深めることを通じて、英米の言語文化に関する広範な知識と、それに対する批判的な視点を持つ国際的人材を育成することを目的とする。

### **<教育課程の編成と特色>**

国際英語学部英米文化学科の教育課程は、全学共通カリキュラム科目及び専門科目である学部固有科目から構成される。

### **<専門教育課程の構成>**

1. 学部固有科目の卒業要件単位は 72 単位であり、履修区分に応じて以下の科目群に分けられる。

- ① 必修科目(42 単位)として、「オーラル・コミュニケーション I~VIII」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズ IA」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズ IB」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズ IIA」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズ IIB」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズ IA」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズ IB」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズ IIA」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズ IIB」、「情報コミュニケーションと英語 I~IV」、「英文講読 I/II」、「英米文化現地研究」、「英米文化入門演習 I/II」及び「英米文化演習 I~VI」を配置し、総合的な英語力の涵養と英米圏の文化研究の実践法を指導する。
- ② 選択必修科目(10 単位)として「英語学概論 I/II」、「イギリス文学史 I/II」、「言語基礎 I/II」、「アメリカ文学史 I/II」、「イギリス文化」、「アメリカ文化」を配置し、学生は専門分野や各自の関心に則して当該科目から必要単位分を修得する。
- ③ 選択科目(20 単位)として、英語学分野に関するもの(「英語音声学 I/II」など)、英語圏文化に関するもの及び比較文研究に関するもの(「現代英語圏事情」、「文化交流史 I/II」)、現代表象文化に関するもの(「映画文化論 I/II」、「演劇文化論 I/II」、「現代文化論 I/II」、「メディア・リテラシー I/II」)及び英語圏文化実地研究に関するもの(「海外セミナー I/II」)など合計 48 科目が配置されている。

2. 国際英語学部英米文化学科では、自身の興味と将来の進路に応じて、以下の三つの履修コースを設定する。

(ア) 文化研究コースでは、その歴史、社会及び政治といった文化諸事象について深く学習することで、現代の複雑な文化事象を批判的に分析考察する知識と技術を習得し、広く国際社会に適応したゼネラリストたらしめる人のための履修モデルである。

(イ) 文学研究コースでは、英米圏に限らず広く英語圏の文学テキストを対象として、人間文化の歴史と営為を文献実証的に調査し検証する知識と技術を習得し、英語圏の文化、社会及び政治に関する実践的分析力を備えた職業人たらしめる人のための履修モデルである。

(ウ) 英語学研究コースでは、英語を入り口として、広く言語の歴史や構造及び社会との接点、及び英語の教育法及びその意義について深く学習することで、特に言語運用及び言語教育のプロフェッショナル(英語教員を含む)を目指す人のための履修モデルである。

### 3. 本学科専門教育科目の特色

国際英語学部英米文化学科では、英米の言語文化に関する広範な知識と、それに対する批判的な視点を持つ国際的人材の育成を目的としている。そのために、入門レベルから専門的研究に至る包括的な英米文化圏の知識と理解を促すため、文化研究関連科目群を4年間にわたって履修できるよう配置している。また初年時から学术研究のための実践的な英語力錬成を目的とした英語関連科目を充実させるとともに、学生の実力と意欲に応じて、「海外セミナー」を中心とした英語圏言語文化実地研究により、積極的な海外短期留学を奨励し、2012年度入学生からは2年次に修得する「英米文化現地研究」により一度は現地で学ぶこととなっている。併せてISEPを初めとする学内の短期・長期海外交換留学を援用し、学生の積極的な海外学習体験を促進してきた。

4. 学習成果と科目との関係は以下のとおりである。

① 「人間」、「社会」、「歴史」などを深く学ぶことで、教養を身につけ、社会人としての常識、倫理観を養う。(全学共通科目)

「哲学 A/B」、「倫理学 A/B」、「東洋史 A/B」、「西洋史 A/B」、「社会学 A/B」、「女性学 A/B」、「平和論 A/B」、「職業と社会」など。

② 異文化に対する理解を通じて、様々な価値観を学び、外国の文化に対する敬意を養う。

「異文化理解 I/II」、「現代英語圏事情」、「カレント・トピックス I/II」、「イギリス文化」、「アメリカ文化」、「文化交流史 I/II」、「比較文化論 I/II」、「英米現地文化研究」、「海外セミナー I/II」など。

- ③ 総合的な英語運用能力を駆使して、英語英文資料の読解調査を行い、かつそれに基づいて論文執筆やプレゼンテーションを行う。

「オーラル・コミュニケーションⅠ～Ⅷ」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズⅠA」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズⅠB」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズⅡA」、「ベーシック・イングリッシュ・スキルズⅡB」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズⅠA」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズⅠB」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズⅡA」、「インターミディエイト・イングリッシュ・スキルズⅡB」、「英文講読Ⅰ/Ⅱ」、「英米現地文化研究」など。

- ④ 英米の文化、文学、言語の特徴と歴史を文化相対主義的な観点から理解し説明することができる。

「英語学概論Ⅰ/Ⅱ」、「言語基礎Ⅰ/Ⅱ」、「イギリス文学史Ⅰ/Ⅱ」、「アメリカ文学史Ⅰ/Ⅱ」、「イギリス文化」、「アメリカ文化」、「英語の歴史Ⅰ/Ⅱ」、「英語の文法Ⅰ/Ⅱ」、「現代英語圏事情」、「英米現地文化研究」、「映画文化論Ⅰ/Ⅱ」、「演劇文化論Ⅰ/Ⅱ」、「現代文化論Ⅰ/Ⅱ」など。

- ⑤ 各種情報処理能力及び高度なメディア・リテラシーを身につけ、その能力と知識に基づいて自ら情報を整理・要約し発信することができる。

「メディア・リテラシーⅠ/Ⅱ」、「情報コミュニケーションと英語Ⅰ～Ⅳ」など。

- ⑥ 自ら研究テーマを設定し、それについての独自の視点から分析調査し、それに基づいて自身の議論を構築し展開することができる。

「英米文化入門演習Ⅰ/Ⅱ」、「英米文化演習Ⅰ～Ⅴ」、「英米文化演習Ⅵ」（卒業論文）など。